

平成28年度 園芸事業推進対策 について

園芸部



本県の園芸生産は、生産者の高齢化などにより、ゆるやかな減少傾向ですが、大規模生産者の拡大、新規生産者や後継者の就農、集落営農組織での園芸品目作付導入・担い手による新規品目の導入など、積極的な園芸品目への取り組みが増えています。

また、消費面では食の外部化が進み、野菜消費量の約6割が加工業務用需要であり、実需者ニーズに対応する生産体制の強化も求められています。

以上をふまえ、本会ではマーケットインを基本とした種々の対策を実施し、園芸農家の所得向上および生産基盤の維持・拡充をすすめます。



◎いわての花ラインナップ
(27.09.04～05いわてフラワーコンテスト)

本年度は、JAにおける園芸生産基盤の強化・拡充を目的とした「第3次園芸産地確立計画(平成28～30年度)」の初年度であり、「園芸産地確立事業」による支援対策を継続実施し、実需者ニーズにもとづく生産拡大推進を行います。産地づくりと生産者の経営の安定のため、契約的取引と買取販売を拡大し、加工・業務用野菜生産を推進します。

「純情産地いわて」の指定席確保に向けて、重点市場・重点販売先への対応を強化するとともに、販売促進の重点化や品質競争力の向上をすすめる、「オールいわて」としての販売力強化に取組みます。

各品目の反収向上対策をすすめるとともに、生産資材・流通資材の改善により、コストの削減に取組みます。また、輸送手段の安定的確保と伴に、効率化とコスト抑制を取引先、運送会社、JAの協力によりすすめます。

【平成28年度基本方針】

- 実需者ニーズにもとづく生産基盤の強化
- 「オールいわて」としての販売戦略構築による販売力の強化
- 生産・流通コストの低減



季節のエッセー
いわての野草

文・澤口 たまみ
絵・永澤 美貴子

「オカトラノオ」
(サクラソウ科)

子どものころ、遊び場に使っていた小さな野原では、夏になると決まって同じ場所にオカトラノオが咲いた。いくらか知恵のついた今ならば、「そうか、オカトラノオは多年草(二年以上生きる草)なのだ」などと考えるところである。しかし幼かった私は、まるでオカトラノオと、約束を交わしていたような気持ちになった。来年、きつとまたここでね！

だから私は、野山でこの花を見かけるたびに、懐かしい友人に久しぶりに会ったような気がして、思わず「やあ！」とつぶやいてしまうのだ。たつぷりと力強いカーブを描いて垂れ下がった花穂が、私の声に答えて、かすかに震えるような気がするのは、まったくの幻だろうか。

参考資料:澤口たまみ著『岩手の野草百科』(岩手日報社発行)より

純情産地発 クララー KLARA vol.804 2016.7

みんなの力で! がんばろう!岩手 純情産地いわて

contents

季節のエッセー いわての野草	02	JAタウン いわて純情館	06
みんなの分教場	07	報告! 出向く活動班	08
2016いわて純情むすめ決定	09	消費地だより	06
ニュースワイドアングル	10		

特集
平成28年度園芸事業推進対策について

タイトルのKlara (クララー) は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

1.生産基盤拡大対策

- (1)「園芸産地確立事業」を中心とした支援策
ア.地域の中核となる大型経営体への支援強化による拡大
イ.部会活動による新規栽培・増反を行う生産者への支援の継続
- (2)契約的取引と買取販売等を活用した、取引先ニーズ・消費地提案への対応など、マーケットインによる産地づくり推進
- (3)野菜の6割程度の需要を占める加工・業務用の生産拡大
- (4)団地化・グループ化の推進による、計画生産・責任供給可能な産地育成
- (5)生産者収益の拡大に向けた秋冬品目の作付推進による「純情産地いわて」の周年産地化の取組み
- (6)新品种および新技術の導入拡大

2.販売強化対策

- (1)重点販売先への安定供給実現に向けた、JA間・集荷場間の連携等による「オールいわて」としての販売強化
- (2)生産者収益の安定化に向けた、産地直送の拡充と契約的取引および買取販売の拡大
- (3)実需者および加工・業務事業者との連携強化
- (4)生産情報の確な把握による、情報販売・計画販売の強化
- (5)重点市場・販売先への責任供給体制強化による、長期・安定販売の実現
- (6)販促フェア等の重点実施による重点販売先への対応強化

務用野菜の拡大」についてピックアップして紹介します。

加工業務用野菜の拡大について

1.はじめに

みだしで記述した通り、野菜需要のうち、加工業務用需要の割合は増加傾向で推移しており全体の約60%となっています。

また、加工業務ユーザー（消費者）が求めている野菜は外国産（中国産）の安全性への懸念の高まりもあり国産志向となっていますが、依然として約30%は外国産に依存しなければ需要を賄えない状況です。

このことから本会は、需要を踏まえた加工原料の供給力強化を図るため、これまで以上に加工業務用野菜の生産拡大推進をしてまいります。

2.地域別重点品目

- (1)キャベツ・レタスはカットサラダの原料として要望の強い品目。
- (2)タマネギは西南暖地・関東産と北海道産の供給時期の端境期。
加工業務用タマネギは国産6割、外国産4割。加工業務ユーザーは全量国産希望

3.生産推進対策

- (1)本会職員の加工業務用野菜専門担当の設置
- ア.生産販売課に専門担当を2名配置し、作付推進、

地区	重点品目
県北地区	寒玉キャベツ・レタス・タマネギ
県中・県南地区	タマネギ

◎販売強化策の一環として



本県重点取引先量販店の青果担当者を招いての収穫体験（産地のおもいを伝えながら、一層の信頼関係を構築しました。本年度も実施します。）

- (7)生産技術のレベルアップ、目揃え会および検査体制の充実による品質競争力の強化
- (8)地域および全県ブランド品目の開発および販売強化
- (9)消費地からの情報（販売状況・品質評価等）収集・発信の強化

3.生産・流通コスト削減対策

- (1)全国的な輸送状況の悪化に対応した輸送体系見直しによる、輸送の効率化と輸送コスト上昇の抑制
- (2)生産資材・流通資材の改善（段ボールの規格統一等）および低コスト資材の利用拡大推進
- (3)生産性の改善、反収向上による収益向上策の推進

4.事業推進体制

- (1)生産基盤拡大や品質競争力強化などを目的とした、JA営農指導員をメンバーとした「園芸産地改革ネットワーク」の活動の強化
- (2)生産基準の統一、記帳、残留農薬検査、放射性物質への対応など品質チェック機能の強化による安全・安

◎加工タマネギ栽培



秋植えタマネギ圃場



タマネギの秋植え(左)、春植え(右)の組合せ栽培



本会レンタル機械を活用してタマネギを定植

◎量販店・加工業者・本会との共同開発商品



いわて春みどりキャベツを使用したカットサラダ製品

◎取り扱いが大きく伸長、オリジナル3品種紅ロマン・紅いわて・冬恋



上:紅ロマン（早生）、中:紅いわて（中生）、下:冬恋（晩生）

4.生産拡大支援策

- (1)加工業務用野菜の新規栽培や規模拡大する生産者に対し生産費の一部助成をします。また定着を図るため2年間助成します。
- (2)タマネギ栽培において機械化体系を実証するため、本会で一連の機械を取得し、安価でレンタルします。（定植機、収穫機、ピッカー、乾燥機等）

以上をもとに、本年度も園芸部一同は現場主義をモットーに取組んでまいりますので、関係各位のご協力をお願いいたします。

心志向に対応した「純情」ブランドの確立

- (3)野菜・菌床しいたけ・乾椎茸・花きなどの生産者を含めた協議会活動をつうじての生産者の規模拡大、販売の系統結集推進

- (4)いわてファンづくり・固定客確保のため、重点販売先および加工・業務用事業者への営業活動強化

次に、平成28年度園芸事業推進対策の中から「加工業

【行動計画】

実行具体策	行動計画	
	28年計画	27年実績
1.園芸品目買取販売の拡大 (1)実需者ニーズに基づく生産の実施 (2)取引先拡大と営業強化	540百万円	323百万円
2.加工業務用野菜の拡大 (1)マーケットイン戦略に基づく需要の掘り起こし (2)出資も含めた加工業者との連携強化 (3)生産拡大に向けたJA、行政との検討会組織設立と運営（加工業務用野菜部会）	550百万円	505百万円
3.青果物用段ボールの規格統一によるコスト低減 (1)JAとの協議による規格統一品目の設定 (2)段ボール規格・材質等最適化の検討 (3)段ボール統一規格の設定	4品目	2品目
4.青果・花きの反収向上に向けた営農指導員の指導力強化 (1)園芸産地改革ネットワーク部会での生産・技術課題の解決と新技術普及（現地研修会・検討会） (2)県農林水産部並びに農業改良普及センターとタイアップ	研修会・検討会 30回	研修会・検討会 28回
5.園芸大型経営体の育成 (1)担い手への規模拡大提案およびフォロー実施 ア.推進候補者のピックアップ イ.販売契約先の確保 ウ.提案具体策の検討（JA・生産者・全農）	提案件数 60件	提案件数 49件

消費地だより



今月のリポーター
消費地販売課
佐藤 武志



ほうれんそう品目部会



レタス部会



大田市場では、日々、さまざまな産地の野菜が入荷しています。6月に入り、これまで九州・中京産などが中心でしたが、徐々に夏秋産地である関東・東北に移り変わってきており、市場内ではうれんそう・レタス・きゅうりなどで手産が増えています。

代表者1名、JA担当者1名、全農いわて5名の計13名が出席しました。市場からは、子葉の処理に気を付けて欲しいとの要望がありました。また、他県産でベト病が多発しているとの情報もありますので、栽培管理にはご注意願います。

2. ほうれんそう品目部会 (5月17日開催)

市場担当者6名、JA新いわて部会

それに伴い、消費地販売課では、野菜重点市場で構成される「いわて純情野菜幹事会」と連携し、岩手産が増えるタイミングでアスパラガス・ほうれんそう・レタスの品目部会を市場販売担当者・部会代表者・JA担当者を参集して開催し、販売情勢の確認や品質査定を行いましたので、内容を以下のとおりご報告します。

1. アスパラガス品目部会 (5月16日開催)

市場担当者4名、JAいわて花巻部会代表者1名、JA担当者2名、全農いわて3名の計10名が出席しました。

市場からは、岩手産のアスパラガスは緑が濃く、販売先からの評価が高いので、もっと夏場(7~8月)にも出荷



アスパラガス品目部会

3. レタス部会 (6月10日開催)

市場担当者4名、JA担当者1名、全農いわて4名の計9名が出席しました。

市場からは、昨年と比べ品質が安定しているとの評価がありました。また、出荷急増時・急減時の早めの出荷情報が必要との要望がありましたので、ご協力をお願いします。

今後、本格出荷を迎える果菜類についても、品目部会を開催し、産地に情報をつないでいきます。これから、暑い時期となりますが、生産者のみなさまも、体調を崩さないようお気をつけ下さい。

みんなの分教場

自家苗生産を目指したJM台木の挿し木繁殖



園芸部 生産販売課
技術主管
佐々木 仁

1. はじめに

近年、りんごの老齢樹や品種の更新のため、各地で改植が進んでいます。新たに植える樹は、樹勢の揃いや果実品質の向上が見込まれることからJM7台木の利用が多いですが、同台木は挿し木繁殖も可能という、M26など従来のわい性台木に無い優れた特性もあります。そこで、改植や新植時の経費節減のため、JM台木を挿し木で増やし、自家苗の生産に取り組んでみてはいかがでしょうか。

2. 母樹の準備

良質な穂木を安定して得るため、JM7の母樹を確保することが有効です。りんご樹と同時に防除できるよう、園地の近くに植栽することをお勧めします。なお、根頭がんしゅ病は菌が枝の中に残り、土壌感染以外に挿し木でも増えますので、母樹は必ず無病のものを使い、疑わしい株は迷わず処分してください。

3. 挿し木の準備

発根する前に挿し穂の基部にカルスが形成されますが、穂木が土中で安定していないと発根も阻害されます。このため、挿し床は事前に軽く沈圧して穂木の固定を促します(保水力も向上)。

沈圧後は土壌の乾燥防止等を目的に、ポリマルチをしてください。この際、黒マルチより白黒ダブルマルチ(図1)で活着率の向上することが確認されています。

4. 挿し穂の調整

挿し穂は10~15cmの長さに調整しますが(図2)、母樹から採取した穂木の①先端より基部で、②細いものより太いもので、活着率が高くなりますので、穂木のそのような部分を優先して用いてください。挿し木前には数時間水あげします(図3)。

5. 挿し木

挿し木のタイミングは、りんごの発芽期以前のできるだけ早い時期で活着が良くなるため(図4)、準備等遅れないようにします。



図5 マルチ上に1芽出した状態

4倍液に瞬間浸漬すると、活着率が向上します。

挿し木後は、風によるマルチのばたつきを



図1 白黒ダブルマルチの挿し床と土壌被覆



図2 調整済みの挿し穂(長さ10~15cm)



図3 挿し木前の水あげ

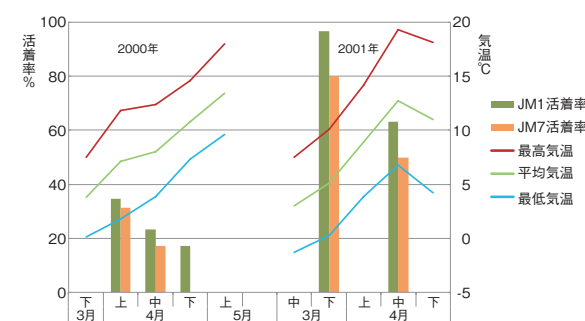


図4 挿し木時期の違いによる活着率の差(岩手県農業研究センター)

6. 注意事項

JM台木は種苗法で保護されていますので、母樹用の苗は苗木業者から購入してください。また、母樹から採取した穂木や、自ら挿し木で増やした苗も、品種の育成者に無断で他人に譲渡はできませんので、ご注意ください。

産地直送通販サイト

JAタウン

いわて純情館

注目の一品!



「いわちくのこだわり」贈答品やご家庭用にもどうぞ

いわちく「味工芸」ハム詰め合わせ

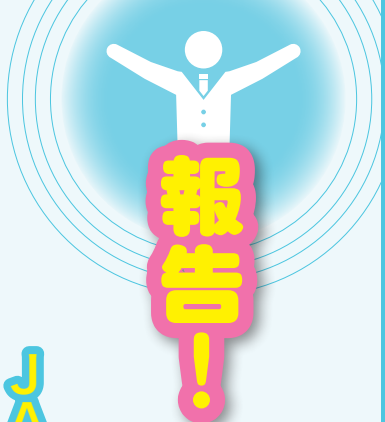


岩手県産の豚バラ肉を正統派の乾塩法でじっくり熟成し、旨味と風味を十分に引き出した乾塩熟成ベーコン、選り抜きの豚ロース肉を熟成・燻煙した味わいと風味際立つ熟成糸巻きロースハム、深みのあるまろやかな風味と、香ばしいジンジャーの香り、歯ごたえもソフトな本格焼豚の3点セットが8月24日まで発売。6月19日から順次発送しております。岩手ではぐくむ「いわちく」のこだわりの「味工芸」ギフトをぜひご賞味ください。

JAタウン「いわて純情館」では純情ブランドを全国の食卓にお届けしています。

いわて純情館





出向く 活動班



今回の報告者
担い手サポートセンター
出向く活動班
加澤 直志

J A いわて中央における 担い手支援活動について

平成28年度4月から「JAグループ農業担い手サポートセンター出向く活動班」に配属され、JAいわて中央とJAいわて花巻を担当しております。JAいわて中央については全農いわて担い手対策課時代から通算で3年目であり、今回はJAいわて中央でのTAC活動について報告いたします。

JAいわて中央には営農経済支援チームとして、盛岡・矢巾・紫波の3名のTACがあり、「担い手」への同行訪問、また、課題解決に向けたTACミーティングや打合せ等を行っております。

JAでは、毎週TACミーティングを営農販売部部長代理及びJA-TAC3名と前週の巡回



月次検討会



モデルJA打合せ



モデルJAプロジェクト会議

結果の報告や今週のスケジュールの確認、また、サポートセンターからの情報提供や、全農県本部の事業部署からいただいた米穀情勢・園芸実績等も活用しながら、参加させていただいております。また、今年度より開催される営農経済支援チーム月次検討会・営農・金融部門合同会議にも参加し、1回目は既に6月に開催されておりますが、JAの常務以下各部門の部長、各課長、各営農センター長、金融部門及びJA-TACで会議を行い、JA-TACの活動報告やサポートセンターからの情報提供など、部門間による情報の共有、連携が図られております。

出向く活動としては、JAにおいて営農部門と金融部門の訪問先をマッチングさせ、リストアップ先を選定した担い手リストを作成してもらい、サポートセンターも作成支援を行い、JAとの同行訪問などの役割分担を決めた担い手リストに基づき巡回訪問を行っております。

JAいわてグループは、第44回JA岩手県大会で決議した「JAいわてグループ自己改革」の基本目標の1つであります「農家組合員の所得増大・農業生産の拡大」を最重点課題として掲げておりますが、JAいわて中央では昨年より「農家手取り最大化に向けたモデルJAの取組み」ということで、プロジェクトチームを設置し、モデル農家を選定、コスト低減に向けた実践メニューについてJAと全農県本部及びサポートセンターが連携して取り組んでいるところであります。私の役割としては、会議や打ち合わせの日程や内容をJAの担当部署と確認し、全農県本部の該当部署に案内をして出席いただいております。今年度も1回目のプロジェクト会議を5月に行い、昨年度の経過報告、今年の提案内容や年間スケジュールについて確認いたしました。また、モデル農家への訪問についても同行で要望等を聞き出しながら都度対応しております。その中で、農事組合法人吉長ファーマーズに訪問した際に娘さんから出た話ですが、「家族で農業をやっているが父が水稲農作業をメインで行っており、将来的には娘さん



TACミーティング



担い手リスト打合せ



吉長ファーマーズ訪問

も作業を行っていくことが決まっているが今後のことを考えると、圃場数も多く作業がわからないので困っている」という相談がありました。そこで営農技術課からアグリノートの紹介があり、資料を入手し、アグリノートについて提案、説明を行ってききました。アグリノートは、圃場において作業記録をネット上で簡単に入力できるシステムで、Androidアプリに対応しているため、場所を選ばず作業現場での入力も可能なものです。現在、実際に使ってもらっているということでもあります。

TACの活動は担い手が困っていることや要望を聞き出して皆で共有し、課題解決に向けて検討し提案する、また、JAだけでは解決できないような事はサポートセンターや全農県本部TACミーティングで課題を共有し、提案内容を検討し支援するという流れであります。そのためには、全農県本部の各事業部とも連携し協力いただく場面も多々あると思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。農家、JAに少しでも喜ばれるような事が出来るよう頑張っていきたいと思っております。



2016 いわて純情むすめが 決定しました！

今年は、生産者と消費者に、
より身近に感じていただける
様々な活動を通じて、幅広い世代へ
「純情産地いわて」をPRします。

①趣味・特技 ②好きな言葉 ③純情むすめになったの意気込み

一人ひとりに認定証
が授与されました。



①趣味：愛ネコの写真を撮ること、アニメを見ること
特技：暗記、啄木かるた(小3からやっています！)
②初志貫徹
③大好きなお米、特にひとめぼれの美味しさを、一人でも多くの方にお伝えしたいです！また、今年は新品種である「銀河のしずく」がデビューする年でもあるので、一層PR活動に励みたいと思います！！



たまきはるか
玉木 春香

①水族館に行くこと
②笑う門には福来たる
③岩手は大地に恵まれ空気も澄んでおり、この地で作られたお米や野菜はとてもおいしいです。そんな岩手の自慢を多くの方に知って頂けるのは光栄なことです。岩手の素晴らしさを今年1年を通して伝えてできればと思います。よろしくお願いします。



さとうえつこ
佐藤江津子

①趣味は食べ歩きで、特技はピアノです
②「失敗」と書いて「成長」と読む
③私は沿岸部出身です。内陸部に住んでから農畜産物を身近に感じるようになりました。食べることは当たり前ですが、「美味しく、安全なもの」を毎日口にできることは、とても幸せなことです。この思いと共に、岩手の食の素晴らしさを県内の方々や全国に精一杯PRしていきます！どうぞよろしくお願いします。



ちはあやか
千葉 絢加

①趣味はDVD鑑賞、お笑い鑑賞。特技は卓球、魚を綺麗に食べる
②楷書を知りて草書で生きる
③全国のみなさんに岩手が誇る純情ブランドを広め、岩手を知ってもらい、わたしが大好きな岩手県をもっと好きになってほしいです。常に笑顔でお客様に寄り添うような接客を心掛け、がんばります！



たなかともかず
田中 祐美咲

①趣味：音楽鑑賞、歌うこと 特技：書道
②一期一会
③岩手にはおいしい食べ物や美しい自然など多くの魅力があります。このような魅力を県内外や海外にまで発信し、生まれ育ってきた岩手に貢献したいと思います。笑顔を大切に精一杯活動していきたいと思います。一年間よろしくお願いします。



さかたあひ
酒田 芽李

①ダンスを踊る事と歌を歌う事が好きです。最近、夏に向けて筋トレにはまっています
②奇跡は努力の別名
③「キュン」とする岩手の魅力、美味しい農畜産物をPRしていきます。その名の通り「純真」な心と「愛情」をもち、たくさんの方が岩手に「恋」してくれるよう、精一杯努めて参ります。



なかにいたさき
中新井田沙希

①趣味はネイルとお料理です。最近夏らしいフットネイルをしました。得意なお料理はミネストローネです
②人に優しく自分に厳しく
③持ち前の笑顔と愛嬌で、岩手県の美味しいものや素敵な自然など、岩手県の良さを沢山の皆さんに伝えていきたいと思います。まだまだ知識不足な部分もありますが、勉強しながら発信していけるように笑顔を絶やさず頑張ります。よろしくお願いします！



のざきれいな
野崎 玲奈

県産牛乳消費拡大へ

6月1日(水)

「牛乳の日」～いわての牛乳消費拡大PR～

JA全農いわては県とJA、牛乳普及協会と共同で岩手大学・JR花巻駅など県内4か所で「県産牛乳200mℓ「酪農理解醸成パンフレット」「牛乳月間キャンペーン応募ハガキ」の配布を行いました。

牛乳を飲む機会が減ってきている20代を中心に、本県の酪農や乳業のPRを目的に毎年実施するもので、大学での活動は今回が初めてです。岩手大学では、JA新しいわてのキャラクター「モーくん」「ミーちゃん」といわて純情むすめ2名が活動に参加。4会場で、用意した2500バックすべてを配布しました。

今後も若い世代を対象とした取り組みを行い、消費拡大につなげていきます。



岩手大学で配布している様子

“第3次園芸産地確立計画”はじまる

6月8日(水)

平成28年度 花き販売対策会議

JA全農いわて花き資材課は、ホテル東日本盛岡にて平成28年度花き販売対策会議を開きました。会議には総勢67名が参加し、「実需者ニーズにもとづく生産基盤の強化」「オールいわてとしての販売戦略構築による販売力の強化」「生産・流通コストの低減」について話し合いました。

本年度は、JAにおける園芸生産基盤の強化・拡充を目的とした「第3次園芸産地確立計画(平成28～30年度)」の初年度であり、「純情産地いわて」の指定席確保に向け、りんどう・小菊を中心とした物日需要に対応できる「オールいわて」としての販売力強化に取り組みます。さらに、コスト抑制策として段ボールの最適化などの流通資材改善、生産性の改善、反収向上による収益向上策の推進を取引先様、運送会社様、各JA担当者の協力によりすすめていきます。



第3次園芸産地確立計画スタートにあたって照井副本部長挨拶

野菜作一貫体系提案

6月11日(土)、12日(日)

農機展示フェア

JA全農いわて農機事業部はJAいわて花巻本店駐車場特設会場にて農業機械フェアを開催しました。農家組合員の低コスト機械化営農支援を目的としたもので、会場にはJAグループ取扱いメーカー49社の最新農業機械や肥料・農薬等のPRブースが並びました。また、会場内に相談コーナーを設け、お客様一人ひとりの要望に応えるべくメーカーが対応しました。2日間で1960名と、目標を上回る来場者でにぎわいました。



多くの来場者でにぎわいました



7月から、2016いわて純情むすめの活動がスタートしました。認定式では大勢のメディアを前に緊張した面持ちの彼女達でしたが、これから様々な経験を通して成長していくことでしょう。活動の様子はfacebookで報告していきますので、応援をよろしくお願いします。

それから、銀河食堂のオープンについて。「銀河のしずく」が一足先に味わえるということもあり、連日盛況のようです。私は昼夜どちらも食べましたが、味も量も大満足でした。ぜひご利用ください。

(千葉)

食の大切さを子どもたちに

6月1日(水)

食育キャラバン

6月は「食育月間」です。JA全農いわては県や歯科衛生士・栄養管理士と共同で県内の幼稚園や保育所を訪問し、子どもたちに食についての大切さを伝えました。2015いわて純情むすめや県のキャラクター「エコロルちゃん」も参加し、子ども達は紙芝居やクイズで楽しみながら食について学びました。全農いわてからは「純鬼くんストラップ」をプレゼントしました。JA全農いわては今後も、食や農を通じて、次代を担う子ども達をサポートしていきます。



最後にみんなで記念撮影

激戦!小学生ソフトボール大会

6月4日(土)、5日(日)

第30回岩手県小学生男女ソフトボール大会 兼 第30回全日本小学生男女ソフトボール大会岩手県予選会

JA全農いわてが協賛する小学生ソフトボール大会が、一関市千厩町で開催されました。県内のスポーツ少年団17チームが参加し、晴天の中、全力でプレーしました。決勝戦は5対6と激戦の末、川崎エンジェルスが全国大会への切符を手にしました。副賞としてJA全農いわてから参加者全員に県産牛乳、優勝チームへ岩手県産米を使用したバックごはんと全国大会への支援金、準優勝チームへいわて純情そうめん、第3位のチームへりんごジュースを贈呈しました。全国大会は8月に岡山県で開催されます。

JA全農いわては今後も、スポーツをする子どもたちを応援していきます。



最後にみんなで記念撮影

優勝した川崎エンジェルの選手達

「銀河のしずく」を皆さまに

6月20日(月)

いわて純情米の店「銀河食堂」オープン

JA全農いわては、盛岡市菜園に、いわて純情米の店銀河食堂をオープンしました。オープニングセレモニーには畠山俊彰県本部長、岩手県県産米戦略室小岩室長ら関係者と齊藤料理長が出席。テープカットで開店を祝いました。畠山県本部長は「消費者に県産食材の素晴らしさを感じていただき、国産で訪れる方々にもアピールしていきたい」と話し、齊藤料理長は「お米がメイン。それに合うおかずを県産肉、県産野菜を中心に作っていきます」と抱負を語りました。

銀河食堂では、今秋デビューの県オリジナル新品種米「銀河のしずく」を味わうことができ、昼の部はごはんがおかわり自由で、食べ比べもできます。7月1日からは夜の営業も開始、岩手の地酒を多数用意してお待ちしております。



テープカットの様子

いわて純情米の店

全農

銀河食堂

GINGA Syokudou

昼の部 (11:00~14:00)

- 日替わりランチ 700円
- 日替わり
レディーランチ **限定!** 700円
- 銀河御膳 **限定!** 1,500円

各ランチ、ごはんのお代わり無料!
さらにいわての牛乳付き!

このほか、ソフトドリンクもごぞいます!

夜の部 (17:00~22:00)

ラストオーダー 21:30

〈コースメニュー〉

- ほろ酔いコース 1,000円
(料理+ビール1杯or日本酒1杯)
- 純情コース 2,000円
(料理のみ全6品)
- 銀河コース 3,000円
(料理のみ全8品)

〈単品メニュー〉

- 本日のおすすめ 500円

岩手の地酒や焼酎各種をはじめ、
豊富なドリンクメニューをご用意!

〔定休日〕 毎週日曜日・祝日(土曜日は昼の部のみの営業)



※写真はイメージです。

いわて純情米の店
銀河食堂
GINGA Syokudou

〒020-0024 盛岡市葉園1丁目12-25
TEL&FAX 019-601-5534

〔定休日〕 毎週日曜日・祝日(土曜日は昼の部のみの営業)

〔営業時間〕 [昼の部] 11:00~14:00 [夜の部] 17:00~22:00



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 総合企画課
JA 全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145
<http://www.junjo.jp>

